

◎吐物とふん便の処理方法

〈用意するもの〉



〈嘔吐の状況〉



吐物は嘔吐した場所から半径約2mの範囲に飛散している

① 装備を装着する

- ・マスク ・手袋(2枚重ね)
- ・使い捨ての撥水性エプロン
- ・足カバー (スーパーの袋で代用可)



② ゴミ袋A,B,Cを設置(吐物からの距離を段々と離して設置)



③ ゴミ袋Aには0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を100cc程入れる



④ ペーパータオル(または新聞紙)を吐物の上に敷く(汚染の可能性のある範囲に広めに敷く)



⑤ 次亜塩素酸ナトリウム溶液をまく



⑥ ペーパータオルで外から中へ2度拭きしないう拭き取り、ゴミ袋Aに捨てる



⑦ ゴミ袋Aの口を根本から縛りゴミ袋Bへ入れる



⑧ 1枚目の手袋はずしてゴミ袋Bに捨てる。



⑨ ペーパータオル(または新聞紙)を汚染区域に敷き、次亜塩素酸ナトリウム溶液をまいて10分放置



⑩ 次亜塩素酸ナトリウム溶液が入ったペットボトル、足カバーをゴミ袋Bに捨てる



⑪ 消毒に使ったペーパータオル(または新聞紙)をゴミ袋Bに捨てる



⑫ 消毒した区域をペーパータオルで水拭きし、水を入れていたペットボトルと共にゴミ袋Bへ捨てる



⑬ 装備を手袋、エプロン、マスクの順に脱衣し、ゴミ袋Bへ捨て、根本から縛る。更にゴミ袋Cへ捨て根元からしばり廃棄する



⑭ 手洗い・うがいをする



⑮ 窓を開けて換気を行う

